

2019 東北被災地を巡って

Visiting Tohoku Disaster Area in 2019.

津村 禮次郎
TSUMURA Reijiro

Abstract: On March 11, 2011, the Tohoku region was hit by the Great East Japan earthquake. Words cannot describe the magnitude of the terrible disaster. On September 2011, I visited Rikuzentakata with consolation and encouragement, and performed a noh dance of requiem and of pray for reconstruction. Since then, I have visited the disaster areas many times, including Shiogama, Soma, Sendai and Fukushima. In 2019, I visited Kesenuma, Rikuzentakata, Tomioka Town and Ishinomaki for a performance tour of noh and ballet collaboration works to pray for recovery, and comfort the local people. Reconstruction activities will continue in the future, as there are still places in serious need of attention. Nature is huge, strong, and harsh, but sometimes gentle.

Keywords: The Great East Japan earthquake, disaster areas, noh, ballet, requiem, reconstruction

キーワード：東日本大震災、被災地、能、バレエ、鎮魂、復興

2011年3月11日東北大震災のその日、私はモスクワにいた。文化庁から派遣される文化交流使としてロシアでの活動の真最中だった。GITIS（ロシア国立舞台芸術大学）で講義中であつた。大災害が日本で起こったことは終了後に学長から知らされ、その後すぐに東京からメールが飛んできて愕然としたことを覚えている。その後はメディアの報道で生々しい画像が次々とながされ、学生やモスクワ市民の見舞いが続々と寄せられた。

4月半ばに帰国して被災地にはすぐにとつてという思いがあつたが、娘が仙台にいて出産も間近かであつたので一週間後には東京に呼び寄せた。仙台、福島へは毎月稽古に出かけていたので知人友人も多くいたが、被災状況は時間がたつにつれ次々と知らされてその凄さに言葉もなかつた。

被災地を初めて訪問したのは2011年9月半ば、陸前高田であつた。和太鼓チームと慰問

というか元気づけというか、こちらの心境も穏やかではいられなかった。海を見下す高台にある老人福祉施設の庭で鎮魂と復興の祈りを込めて舞った。翌年は塩釜、更に相馬と続いた。その後野田秀樹さんと「東京キャラバン」プロジェクトで仙台、相馬を巡回した。その間毎月仙台福島には稽古に行っていたので、復興振りを見たり、人々の思いも数多く耳にすることができた。

今回は9年後の10月半ばバレエとのコラボレーション作品を携えて、気仙沼、陸前高田、富岡町、石巻を一週間ほどで巡回した。能やバレエを見るのは初めてという人も多かったが、公演会場は気仙沼市民会館、陸前高田のショッピングモール内、富岡町えびす講祭、石巻の昭和初期のデパートであった文化財の建物など大小さまざまであったが、熱気に包まれ、殊に災害と復興のコントラストの舞とダンスはそれぞれの地元の皆様の印象に残ったようだ。

ツアーのきっかけとなった能とバレエのコラボ作品「伯楽星 HAKURAKUSEI」は6年前のロンドンで行われるジャパン祭に初参加した時に制作したもので、震災で壊滅的ダメージを受けた宮城の日本酒蔵元の再生の物語を下敷きにして、日本酒という日本文化の復活をテーマにしている。それだけにご覧頂いた方々には一入の想いでご覧頂けた。

被災地の復興は都市部を見ればそれなりにと感じられるが、一旦地方に行くとそれぞれ状況が異なり、復興の様相も様々である。10年近くなっても、まだまだこの程度かと思えることも多かった。ことによりやく帰還が叶った福島富岡町は津波以外に放射能の問題が深刻で共同体の形成を大きく阻んでいる。

今年は風水害が多く、日本という国土に住むことの難しさ、また素晴らしさを感じることができた。最終地石巻の市場から送った生サンマは知人、家族に大いに喜ばれた。自然は巨大で強い、そして厳しく時にやさしいのである。